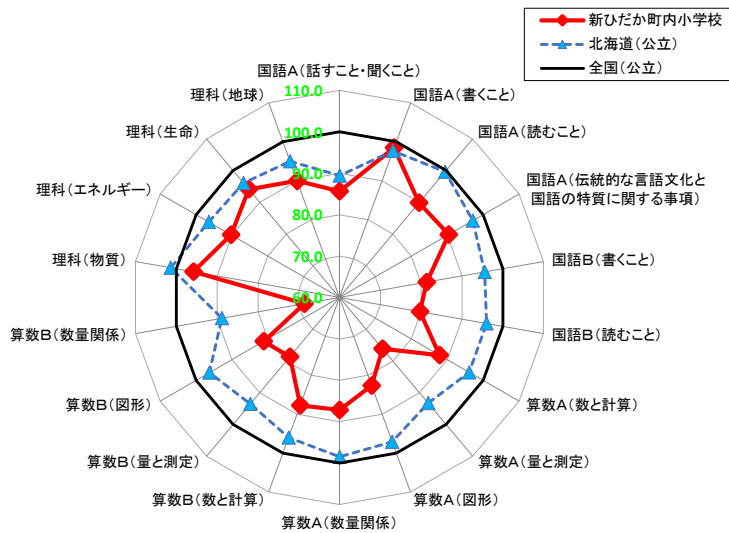


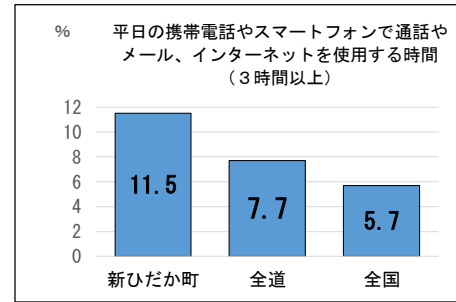
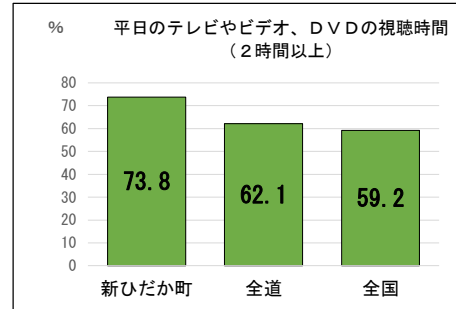
■新ひだか町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6、児童数:183名)

【教科全体の状況】

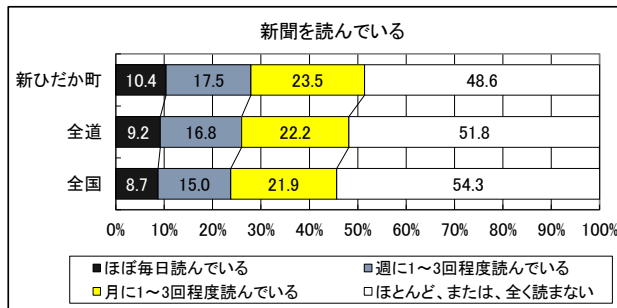
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



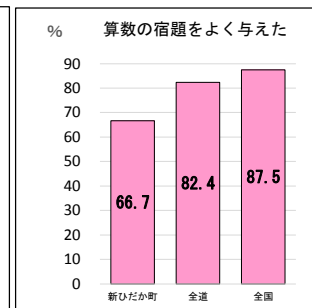
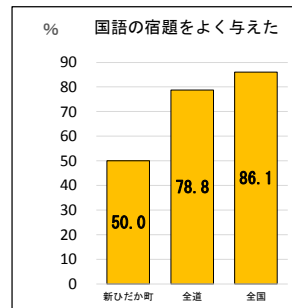
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」で全道を上回っている。 ○ 算数では、全ての領域で全国を下回っている。 ○ 理科では、「生命」で全道とほぼ同様となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語、算数の指導において、1時間の授業の課題やねらいを明確にし、目的意識をもたせる授業展開など、授業改善を図ったことにより、国語、算数ともに全体的に正答率が向上している。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞を読んでいると回答した児童の割合が、全国を上回っている反面、テレビ等の視聴時間が2時間以上、携帯電話やスマートフォンを使用する時間が3時間以上である児童の割合が、全国及び全道を大幅に上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 質問紙調査の結果から、「平日のテレビやビデオ、DVDの視聴時間」が2時間以上の児童の割合が全体の73%以上で、全国及び全道を上回る状態が続いており、家庭学習の習慣化や望ましい生活習慣のさらなる確立が求められる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校で、児童に家庭での学習方法を具体的な例を挙げて指導しているが、国語、算数の宿題をよく与えたと回答した学校の割合が、全国及び全道を下回っている。 	

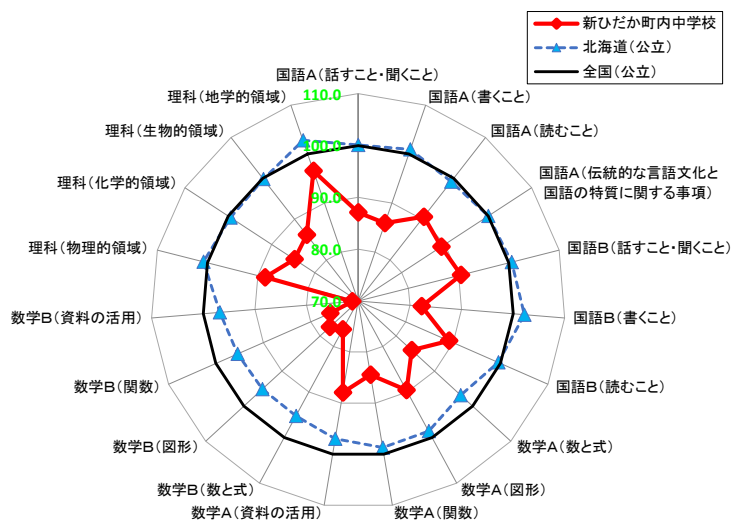
【新ひだか町の学力向上策】

<ul style="list-style-type: none"> ◎ 全国学力・学習状況調査の分析を受け、各学校の改善プランに基づいた主な取組を保護者などに情報提供するとともに、連携を深める。 ◎ 学習規律の取組の徹底(授業開始前の机に教科書などの準備、開始前に着席など) ◎ 1時間の授業の課題やねらいの明確化とまとめ <ul style="list-style-type: none"> ①明確な課題提示(授業で何を学ぶか)、②テンポのよい指導、③ポイントのまとめ(基礎・基本の定着)、④定着のための指導(繰り返し学習) ◎ ノート指導の徹底と家庭学習に結びつく取組 ◎ 放課後や夏冬休みなどを利用した補充的な学習サポートの実施(教師の主体性) ◎ 新ひだか町特別支援教育支援員の活用 ◎ 標準学力テスト(CRT)の実施(補充的な学習の手立てとしてのアシストシートの活用、小中の連携によるきめ細かな指導などへの活用) 	
---	--

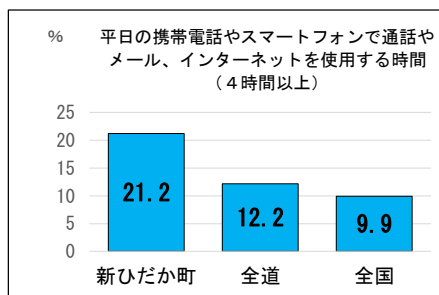
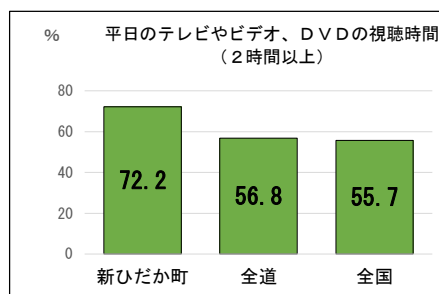
■新ひだか町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3、生徒数:200名)

【教科全体の状況】

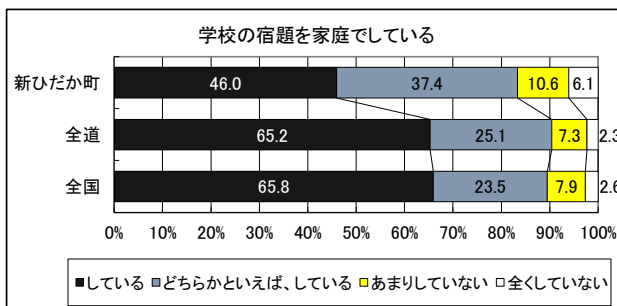
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



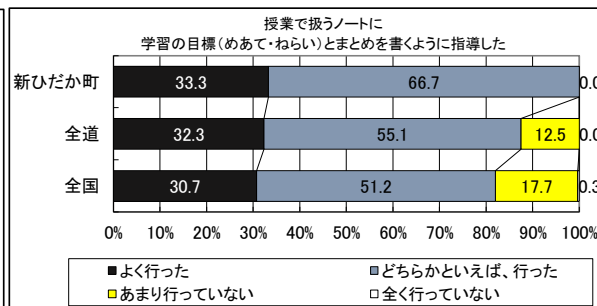
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、全ての領域で全国を下回っている。 ○ 数学では、全ての領域で全国を下回っている。 ○ 理科では、「地学的領域」で全国とほぼ同様になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校においては、保護者に対して生徒の家庭学習を促す働きかけを継続して行ったことにより、家庭で宿題や授業の復習を行う生徒が増えている反面、「平日のテレビやビデオ、DVDの視聴時間」が2時間以上や「携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを使用する時間」が4時間以上の生徒が全国・全道を上回る状態が続いており、家庭学習の習慣化や望ましい生活習慣のさらなる確立が求められる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の宿題を家庭ですると回答した生徒の割合が8割以上であり、全国及び全道と比べてもそれほど低い状況ではないが、テレビ等の視聴時間が2時間以上、携帯電話やスマートフォンを使用する時間が4時間以上である生徒の割合が、全国・全道より大幅に上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で扱うノートに学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導していると回答した学校の割合が、全国を上回っている。 	

【新ひだか町の学力向上策】

<ul style="list-style-type: none"> ◎ 全国学力・学習状況調査の分析を受け、各学校の改善プランに基づいた主な取組を保護者などに情報提供するとともに、連携を深める。 ◎ 学習規律の取組の徹底(授業開始前の机に教科書などの準備、開始前に着席など) ◎ 1時間の授業の課題やねらいの明確化とまとめ <ul style="list-style-type: none"> ①明確な課題提示(授業で何を学ぶか)、②テンポのよい指導、③ポイントのまとめ(基礎・基本の定着)、④定着のための指導(繰り返し学習) ◎ ノート指導の徹底と家庭学習に結びつく取組 ◎ 放課後や夏冬休みなどを利用した補充的な学習サポートの実施(教師の主体性) ◎ 新ひだか町特別支援教育支援員の活用 ◎ 標準学力テスト(CRT)の実施(補充的な学習の手立てとしてのアシストシート)の活用、小中の連携によるきめ細かな指導などへの活用) 	
--	--